

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念を基本にグループホーム独自の理念を掲げている。カンファレンスを中心に話し合いながら取り組みを行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	10月にメディカルフェスティバルを開催、11月に西院ふれあい祭りにご利用者との参加を通して、地域との交流の機会をもつことができた。	5類以降降したことで、洛和会のフェスティバルや、西院のふれあい祭りが以前に近い形で開催でき、移動販売も毎週行っていることで、交流の機会は確実に増えている。		イベントだけではなく、日常生活の中で地域住民の方と接する機会を設けていく。小規模利用者とも建屋一帯で交流を深めていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議は今年度より対面での会議が再開された。現状や取り組みについて報告、意見交換を行い、いただいた意見を活かしている。	対面での会議が再開されたことで、意見交換が活発になっている。意見集約を継続し、サービスの向上に生かすことができている。		対面での意見交換を今後も継続していく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で地域包括や民生委員の方と現状や取り組みについて話し合い、運営推進会議議事録を作成し役場の担当窓口へ持参して状況報告している。	議事録にて運営状況を報告することで、市が把握されています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行き知識を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行き知識を深めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行き知識を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアのヒヤリハットを活用し、振り返りを継続し、早期のうちに虐待の芽を摘むよう取り組んでいく
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行き知識を深めている。必要性によって、ご家族の相談にも応じている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約は入居担当者と管理者が行い補足しながら説明をしている。解約時や改定の際も説明し同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年家族アンケートを実施し意見収集と改善を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期の自己申告面談、随時の個別面談、毎月のカンファレンスを実施。意見はすぐに共有し、実践に反映するよう努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の自己評価を基にした力量評価を行い、自己申告書に基づき、管理者の面談を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常勤職員だけでなく、非常勤職員にも定期的に面談の時間を設け、意見や考え、思いを聴く時間を確保していく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の力量や要望に応じて研修に参加できる機会を設けている。勤務内で参加できるよう調整している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体研修は確実にしているが、現任研修の参加が少ないため、参加できるよう案内、勤務調整を行っていく
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員交流会、エリア会議、現任研修に参加し、情報交換、意見交換、ネットワークづくりを行えている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事(食器拭きや洗濯たたみなど)やレクリエーション(パズル、カラオケなど)と一緒に楽しく支えながら生活を共にしている。			利用者の思い、気分を尊重しながら、集団ではなく、個別での関わりを継続していく
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、知人、友人等と、居室内での面会の場を設けている。また、面会時、できるだけ写真を撮影することで、記録を残している。	外出や外泊が解禁されたことで、より、ご家族やご友人などの、なじみの方との関係を継続することができている。本人の大切にしている環境を継続できるよう取り組んでいる。		面会や外出にとどまらず、ご本人の能力に応じて、電話や手紙のやりとりも行いながら、関わりが途切れないよう支援していく。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の様子は記録や職員間で口頭や書面にて情報共有している。また毎月のカンファレンスで本人の意向を探りケアプランの作成に反映させている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望、主治医、訪問看護師、歯科衛生士、理学療法士、言語聴覚士の意見を基にカンファレンスを職員間で行いケアプランの作成を行っている。	介護士だけでなく、他職種で多面的に支援内容を検討し、ケアを実践されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理日誌、介護日誌、介護チェックシートを活用し職員間で情報共有を行い実践や計画に反映させている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域ボランティアの受け入れを再開し、レクリエーションの充実を図っている。近隣の店舗への外出も少しずつ再開している。	ホームの外の方と関わる機会をもつことで、利用者の刺激になると思います。		行事やイベント時のみにとどまらず、食材の買い出しなどを通して、日常生活の中で、地域の方と接する機会を設けていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問マッサージや訪問美容を利用している。	新たな地域資源やサービスを活用することで、ご利用者の生活がより豊かなのではないかと思います。		現状のサービスにとどまらず、ご利用者個々人のニーズの実現のため、地域資源を活用していく
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時面談時にかかりつけ医を確認し、往診時には希望のかかりつけ医に来て頂いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院スタッフ(主に相談員)と情報共有を行い早期に退院につなげられるように連携している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	契約時に説明。医療従事者と連携し、状態の変化に応じて、看取		A. 十分にできている B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	り対応等について、話し合いながら取り組む体制が整っている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急対応マニュアルを事務所に設置。普通救命講習を職員全員が受講している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回消防署立会いの消防訓練を実施。玄関にハザードマップを設置。2ヶ月に1回、機器や備品の確認、防災グッズの設置を行っている。	訓練は事業所内だけで行うよりも、地域の方々に参加いただいたり、地域の訓練に参加したりして、事業所マニュアルと地域の動きと連動できるとよりよいのではないかと。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議等で情報交換を行い、地域の方々に事業所内の訓練に参加いただいたり、事業所職員が地域の訓練に参加することで、協力体制を構築していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに関しては職員間で確認共有している。不適切な対応がないか、マナー・接遇面を含めて毎月振り返りを行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアのヒヤリハットを毎月提出することで、継続して振り返りを行っていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時のご本人の体調や気分に応じて、食事や入浴支援等は柔軟に行っている。居室での休憩や臥床も声かけをしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	形状、量などその方に合わせて工夫・支援をしている。調理、食器洗い、食器拭き等はご利用者と一緒に行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ごとに個別に対応。必要に応じて他職種との連携を図り、支援方法を検討していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療従事者に相談しながら、食事摂取量が減少傾向な方には補食として経腸栄養剤などを処方している。			ご利用者ごとに個別に対応。必要に応じて他職種との連携を図り、支援方法を検討していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科と連携し本人のADLに合わせて自立支援している。洗口液を使用し、口腔内の状態保持に努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ごとに個別に対応。必要に応じて他職種との連携を図り、支援方法を検討していく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。水分摂取やオリゴ糖等の使用、運動の機会の確保で排便を促進している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ごとに個別に対応。必要に応じて他職種との連携を図り、支援方法を検討していく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当日の本人の体調、気分に合わせて、入浴介助を行っている。			ご利用者ごとに個別に対応。必要に応じて他職種との連携を図り、支援方法を検討していく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疲労、不眠傾向な時には臥床の声かけをしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋での薬剤情報を確認し、医療機関との連携で薬剤の調節に留意している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな物・好きな事などを把握し、家事のお手伝い、散歩、レクリエーション等の支援を行っている	集団で同じことを行うより、一人一人の好みや、その時の気分を尊重して個別に行えるより良いのではないかな。		レクリエーション、役割がマンネリ化したり、本人の負担にならないよう配慮して、実施していく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天候に合わせて外気浴や散歩を取り入れている。ご家族との外出制限が緩和され、ご希望に合わせて実施できている。11月は紅葉狩りに外出できた	5類移行し、外出が制限なく行えるようになったことで、ご利用者の楽しみが増え、意欲も出てくるのではないかな。外に出られるという安心感が、入所施設で生活する上では必要ではないかな。		行事だけではなく、1日のうち、短時間であっても、散歩や外気浴の時間を設けていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2名のご利用者がご家族同意のもと、少額を自己管理されている。移動販売での買い物や、郵便局でハガキ、切手を買う等ができている。			自分でほしい物を選び、自分で支払う…という、今まで続けてきた生活を継続できるよう、ご家族とも相談しながら支援を行っていく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人へ電話の取次ぎ、手紙の投函への同行等を行っている。ご本人宛に届いた手紙は、ご本人に開封してもらう。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングの一部をサロン風にしたり四季ごとに飾付けをするなど季節感ある空間を演出している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩、食事、買物などその時に応じて選択が出来るように支援している。外出の機会も少しずつ増えてきている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身の習慣や生活嗜好(食物、趣味など)に近づける様に支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状態に変化があれば往診医、訪看、歯科医などの医療職に報告し指示を仰ぐ。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな本、音楽、テレビなどに接する機会をつくり楽しい時間を過ごす環境を支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのある物(三面鏡、タンス、衣類など)を自室に置き安心して過ごせる様に支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の散歩、買い物、ご家族との外出等実施できている。春日神社の祭りの行列の見物(ホーム内)や、メディカルフェスティバル、西院ふれあい祭りに参加することができた。	お一人お一人の意向も含め、外出の機会や催事への参加が実現できるよう、支援を続けてさしあげてください。今までの生活の継続を大切にしてください。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の得意な分野(料理、洗濯、たみ、歌など)を見つけ共に楽しみながら参加する機会確保している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の好きな事(家事、歌、散歩、買物など)が出来る様に支援している。買物や外食なども、ご家族の協力で実施できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メディカルフェスティバル、西院ふれあい祭りへの参加を通して、地域と交流ができた。	地域と関わることで、ご利用者の刺激となり、閉じこもり、閉塞感をやわらげ、安心感、自己肯定感などを感じていただければと思います。		行事、イベントをはじめ、日常的に地域住民との交流の場を増やしていきたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出の制限が緩和されたことで、ホーム外の方々との交流の機会を増やすことができ、一人一人生活の幅が広がっている。	5 類以降、外出制限の緩和によって、ご利用者の満足度の向上や安心感につながっているのではないかと。引き続き、職員、地域住民をはじめ、たくさんの方々に関わる機会を持っていただければと思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の外に目を向け、様々な方と交流する機会を確保していくことで、満足度の向上に努めていきたい。